

会 議 録

I. 附属機関等の会議の名称

松川町自治体経営審議会（平成22年度／第1回）

II. 開催日時

平成22年10月27日（水） 19時00分から21時10分まで

III. 開催場所

松川町役場 2階 協議会室

IV. 出席者氏名

尾曾元広委員、近藤保穂委員、宮下彰委員、吉田豊委員、米沢正幸委員（欠席：荻原正義委員、久保田志げ子委員、佐藤和仁委員、原文子委員、宮下繁委員）  
竜口文昭町長、吉澤澄久総務課長、片桐雅彦企画財政係長、田辺哲哉主事

V. 議題（公開）

- ・ 第2次自治体経営改革プランの策定日程等について
- ・ 全世帯アンケート結果について
- ・ 現自治体経営改革プランの進捗状況について
- ・ 第2次自治体経営改革プラン原案について

VI. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

VII. 傍聴人の数

—

VIII. 会議資料の名称

- ・ 松川町自治体経営審議会次第
- ・ 第2次自治体経営改革プランの策定日程等について [資料 No.1]
- ・ 第4次総合計画後期基本計画策定に関する町民アンケート結果 [資料 No.2]
- ・ 松川町自治体経営改革プランの進捗状況について [資料 No.3]
- ・ 前回（H22.1.22）以降に委員より提出された意見について [資料 No.4]
- ・ 第1期と第2期改革プランの体系整合表
- ・ 第2次松川町自治体経営改革プラン（原案） [資料 No.5]
- ・ 平成21年度 松川町行政評価 第三者評価

## IX. 審議の概要

1. 開会（事務局）
2. 挨拶（町長）
3. 諮問

町長から審議会へ諮問

町長退席

4. 議事（議長：尾曾副会長）

(1) 第2次自治体経営改革プランの策定について [資料 No.1]

(2) 全世帯アンケート結果について [資料 No.2]

一括して事務局より説明

（委員）

不満と記された部分について具体的にわかるか。

（事務局）

設問の中ではその他欄、自由記入欄を設けており、行財政改革についての意見は出ているが、大きく傾向まで見えていない。

（委員）

道路・交通は前回と変わっていない。特に道路については、松川町は遅れているとアンケートに記入したがどのような扱いとなっているのか。

（事務局）

アンケート自体総合計画のアンケートとしており、細かいところまで拾ってあるが、個々の意見については量が多く、公示していない。個々の意見については、庁内企画委員会には示し、参考とするようにしている。

（委員）

クロス表は、メリハリがない。どこかが大きく突出していると、町が重点として力を入れていることがわかるが、これでは、見えにくい。

（委員）

（道路については、）項目が前回に比べ公共交通（コミュニティバス等）も一緒となっており、回答者意識を読みにくい。

（委員）

前回アンケートでは、高齢者福祉については、介護サービスが始まったばかりだったが、満足度も高かった。

（委員）

今回アンケートは世帯を対象としており、ニーズを読むにはいいのかと思う。アンケートは、社会環境や設問内容等比較が難しい。

(3) 現自治体経営改革プランの進捗状況について [資料 No.3、4]

(4) 第2次自治体経営改革プラン原案について [資料 No.5]

一括して事務局より説明

第2次自治体経営改革プラン原案 (1) 効率的な行政改革

(委員)

本来、住民要求を吸い上げるのは議会・議員の仕事ではないか。何らかの形で議会・議員について表明すべきではないか。例えば、議員報酬の見直しも含めても良いのではないか。

(委員)

接客力として正しい知識と的確な判断力を求める。

(委員)

接客力向上については、話しやすい、相談しやすい対等な立場での接客が大切である。そのことにより、住民が求めているニーズも把握しやすくなる。

(委員)

「感じの良い」という表現よりも「安心できる」、「親しみのある」が良いのではないか。

(委員)

リスクマネジメントを勘違いしている人がいる。〇〇様とつければ良いのではなく、お互いに対等な立場になること。対等になれば苦情も言い難くなる。少しずつ見直す必要があるのではないか。

(委員)

3ヵ月後の目標を個々で決め、達成度でスキルアップをしていくキャリアパスや専門ではなく複数の業務をこなすマルチタスクを取り入れたらどうか。

第2次自治体経営改革プラン原案 (2) 総人件費改革の推進

(委員)

国の人事院勧告が無くなるといわれていること、公務員だけではないが、定年が延長されるといわれていることは、検討する必要がある。人事院勧告は、松川町独自では比較ができない。

(委員)

職員数の削減について適正人員はあるのか。ただ少なくするのではなく、行政サービスの低下にならないようにすべきである。

(事務局)

国で示された集中改革プランよりも削減しているが、正規職員だけ削減し臨時職員を雇っては変わらないのではないかとのご意見もある。しかし、総人件費としても、減少している。

(委員)

行政サービスの仕事は、権限や判断が結びついている。単純に、臨時職員に置き換える訳にはいかない。臨時職員であっても一定の研修を行う必要がある。

## 第2次自治体経営改革プラン原案(3)健全な財政運営

(委員)

「持続可能な…」とあるが、経営が困難なのか。危機感なのか。こういう問題は早めに行わないと。専門的なところに見てもらった必要があるのでは。4年に1度で良いのか。

(事務局)

松川町の特徴としては、上水道では、特に生田地区において人口密度が少なく配管が長い。下水道では、集合処理地域が広く効率が悪いといった面がある。長期的な検討に力を注ぐ必要があり、上水道は、外部でのアセットマネジメント(資産管理)を行うこととしている。

(委員)

下水道経営審議会に参加したが、加入率は頭打ち状態で、早期に建設した施設の老朽化等もでてきており、早めの対策が必要である。上水道は安全安心が求められるが、財政面の負担にならないような形で住民満足となればよい。

(委員)

地域協働の道路整備について、理念はわかるが、河川清掃のようにほぼ強制に近い形であればよいが、住民が行動を起こすかが心配。

(事務局)

第1次プランでも結論がでていない。引き続き検討していく必要がある。自分たちで考えて整備を行うと気持ちも入る。必要か否か見極めもできるのではないかと思う。

(委員)

行政依存から自立しないといけない。農水省の農地・水・環境保全向上対策をおこなっているが、皆で農地や道路を整備している。

(委員)

広告掲載事業について、まずは、広告主募集をすることが必要である。

(委員)

遊休地の売却について、まずは、リストを作って考えるべきである。

(委員)

宅地分譲について、宮ヶ瀬住宅地等売れ残っているが、塩漬けしないよう活用の仕方を考えるべきではないか。(喬木村富田のように)若者向けの町営住宅を建て、賃貸から売買できるようにするなどシステムを考えるべき。

## (5) その他

(事務局)

次回日程については、11月下旬を予定している。

行政評価の第三者評価について20年度は終了とし、公表を行う。21年度は、プラン策  
定で休止し、次年度試行を考えていくことでした承願いたい。

－全員了承

## 5. 閉会（副会長）